

# 第6章

## 緑・環境，防災・減災，地域活性化の考え方

### 目標2

多摩川や深大寺の水と緑につながる花と緑あふれる市街地が形成され，古社や街道の歴史や文化を感じながら回遊・滞在できる街

緑・環境

防災・減災

### 目標3

防災対策や環境配慮がされ，多様な人が安心して住み続けられる持続可能な街

地域活性化

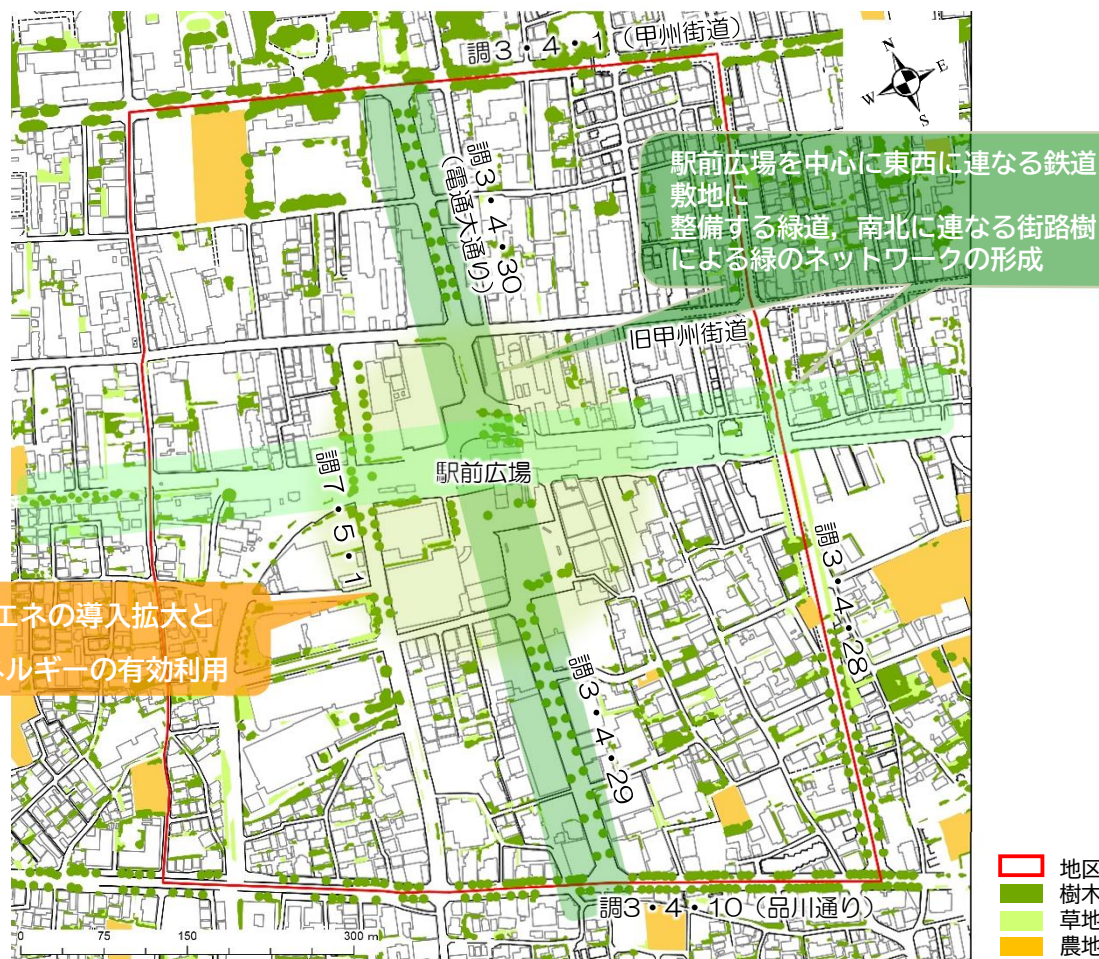
## 第6章

# 緑・環境，防災・減災，地域活性化の考え方

気候変動の影響による地球温暖化問題の深刻化や、近年の社会情勢の変化等を踏まえ、調布駅周辺地区において、市や民間事業者が実施することが期待される取組についての考え方や具体的な事例を示します。また、取組例は、地区の目標を踏まえて、「緑・環境」、「防災・減災」、「地域活性化」の3つの分野ごとに紹介します。

### 緑・環境分野

緑の保全・創出とともに、省エネルギーの徹底や再生可能エネルギーの導入拡大などの脱炭素化の推進により、ゼロカーボンシティ調布の実現を図ります。



▲調布駅周辺地区の緑の分布状況

### 【緑の連結軸，鉄道敷地沿い】

#### 緑のネットワークの形成

駅前広場を中心に、東西に連なる鉄道敷地の緑道と、南北に連なる街路樹等で構成された緑のネットワークの形成により快適な都市空間を創出し、駅周辺の回遊性の向上を図ります。また、緑に関する各種法制度の周知・活用推進により、まちなかの民有地における緑地・樹木の創出・保全を誘導します。



街路樹と敷地内緑化

## 身近な緑の充実

地区内に立地する住宅敷地内においてもプランター等の設置や生垣による緑の創出を促進することで、緑の連結軸沿道の緑との連続性を保ち、調布駅周辺地区に貴重な潤いを提供します。また、身近な緑を連続させることにより、歩いて楽しい市街地の形成を図ります。

### ★身近な緑の創出に向けた取組例

緑化保全活動への支援事業(花いっぱい運動事業)の周知，市民に活用しやすい緑化の補助等の制度(新設生垣に対する補助等)の周知・活用推進，壁面・屋上緑化の促進 など

## 都市農地の保全

多面的機能を有する都市農地については，保全・活用の検討を進めます。

## 建築物における脱炭素化の促進

市内における二酸化炭素排出量の約8割(2023年度実績)を民生家庭・業務部門が占めていることを踏まえ，ゼロカーボンシティ調布の実現には，建築物の脱炭素化を促進していくことが重要となることから，建築物における省エネルギーの徹底と再生可能エネルギーの導入拡大等を促進していきます。

### 【駅前広場周辺街区】再エネの導入拡大と地域におけるエネルギーの有効利用

当該地区における施設の更新や開発などの機会を捉え，着実に再生可能エネルギーの導入拡大を進めるとともに，地域で創られるエネルギーを有効利用できる仕組みづくりにより，地域の脱炭素化とともに，エネルギーの安定供給・最適化，レジリエンスの強化を図り，地域の活性化につなげます。

### ★エネルギーの最適化による地域内利用の推進(スマートグリッド)

地域で創ったエネルギーを地域で使うため，情報通信技術を活用して，電力需要と供給を最適化する仕組みです。「再生可能エネルギーの有効活用」，「レジリエンスの強化」，「地域の活性化」が図ることができます。

## 雨水の貯留・浸透施設の設置促進

健全な水循環の確保のため，公共施設・民間施設において雨水の貯留・浸透施設の設置を促進します。雨水の貯留・浸透施設の設置により，近年頻発する集中豪雨による浸水対策にもつながります。



住宅敷地内の緑化



壁面の緑化

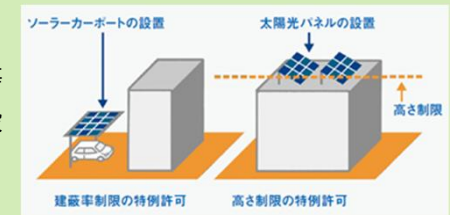


屋上の緑化

写真出典：東京都 既存建築物屋上緑化事例集

★「建築物再生可能エネルギー利用促進区域制度」を導入  
令和7年4月から，市は建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律(建築物省エネ法)に基づき，市全域で太陽光発電設備・太陽熱利用設備等，建築物における再生可能エネルギー利用設備の設置の促進を図るため，「建築物再生可能エネルギー利用促進区域制度」を導入しました。

特例適用要件及び許可基準を満たすことで，建ぺい率・高さ・容積率の制限を超える太陽光パネルやソーラーカーポート等の設置が可能となります。



<市全域における措置>

- ・市による情報提供等の支援
- ・建築士から建築主への説明義務
- ・設置規制の緩和
- ・再エネ利用設備設置の努力義務

防災・減災  
分野

調布ルールに基づき、耐震化と一時滞在施設の整備を進め、災害時も日常生活と都市機能の速やかな回復を目指します。

※調布ルール：調布駅周辺帰宅困難者等対策協議会にて策定した大規模災害発生時に事業者や学校等がとるべき行動のこと。「一斉帰宅の抑制」、「3日分の備蓄」、「多様な主体の連携による、的確な情報共有」、「まちぐるみで混乱防止」の4つのルール。

## 【駅周辺街区】帰宅困難者等の一時滞在可能な空間の整備推進

大規模な災害が発生した場合、特に駅周辺には帰宅が困難になった来街者や多摩川周辺の浸水エリア等からの避難者の発生が予想されるため、駅周辺事業者や学校と連携し一時滞在可能な空間の整備や食料等の非常用品を備蓄することにより、災害時の混乱の軽減が期待されます。また、平常時のイベントスペースを、非常時は一時滞在可能な空間として利活用できるよう整備を推進します。

## 事業者・学校等と連携した帰宅困難者対策の促進

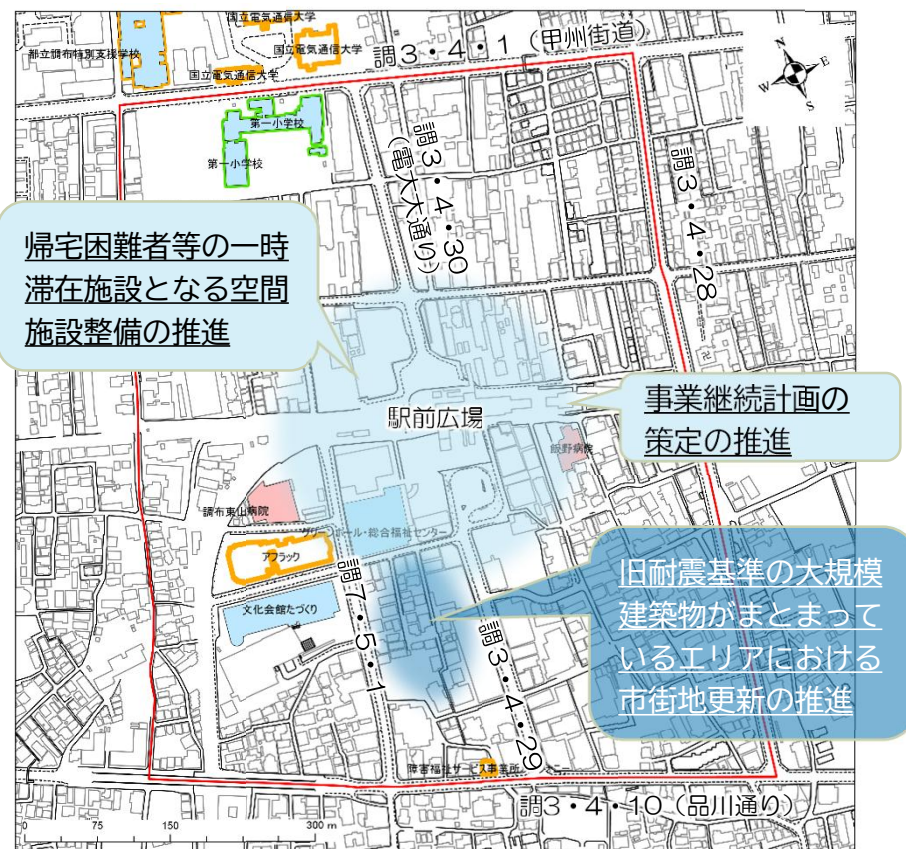
事業者は、地区で実施する防災懇談会、防災訓練等に積極的に参加することや、帰宅困難者等を一時的に受け入れる防災協定締結施設への協力等、市内の事業者や学校等に協力し、地元住民との相互協力関係の構築を図ります。

## ★調布駅周辺帰宅困難者等対策協議会の取組

令和元年度に発足した調布駅周辺帰宅困難者等対策協議会では、震災等の大規模災害が発生した場合において帰宅困難者等の混乱を避けるため、「調布ルール」を策定し、市内の事業者や学校等に協力を仰いでいます。また、東京都と合同で帰宅困難者対策訓練を実施するなどの取組を実施しています。



防災訓練・イベント 写真出典：調布市HP



### ▲調布駅周辺地区の避難所等の立地状況

-  地区計画区域(調布駅周辺地区)
  防災マップに記載の避難所
  防災マップに記載の緊急医療救護所
-  洪水・内水ハザードマップに記載の避難所(福祉避難所含む)
  防災協定締結施設

### 【駅周辺街区】事業継続計画(BCP)の策定の推進

災害時の混乱や被害の軽減に資するため、事業者には事業継続計画(BCP)の策定が期待されます。

#### ★BCP対応の施設整備の例

市内に立地する都立武蔵野の森総合スポーツプラザでは、太陽熱を利用した環境性能の高い空調設備と、省エネとBCP対策を両立したガスコージェネレーションシステムが導入されました。



出典：https://eee.tokyo-gas.co.jp/case/facility/02.html

▲太陽熱を利用した省エネとBCP対策を両立した  
武蔵野の森総合スポーツプラザ

### 老朽施設の建替や一体的な街区形成による市街地更新の推進

老朽施設の建替，一体的な街区形成による狭あい道路の解消など防災性の向上が期待されます。

★調布駅周辺地区での施行事例 本ビジョンp.11にて紹介しています。

### 建物の耐震化の推進

緊急輸送道路等，主要な動線となる道路沿い等において，建物の耐震化・不燃化を推進することにより，地区全体の防災性の向上が期待されます。特に調布駅南口の旧耐震基準の大規模建築物がまとまっているエリアでは，市街地再開発事業の機会をとらえ，市街地の更新を推進していきます。

### 地域活性化分野

調布ならではの魅力であふれ、活気に満ちたまちづくりを促進します。また、子育て環境の向上やバリアフリー化の推進により、子どもからお年寄りまで、すべての方にとって住みやすいまちづくりを推進します。

#### 良好な街並みの形成

調布駅周辺には駅前広場を見おろす景観や地下化に伴い線路や架線が無くなった空と夕陽の景観、歩行空間のにぎわいや広場周辺の空間が作る人の風景などの景観があります。今後も市の中心拠点として、「安全・安心」「清潔感」「子育て中の親たちがベンチに座っている風景が日常的に見られ、多様な世代が滞在・交流できる駅前広場」などの魅力的な都市景観の形成が期待されます。

#### 調布ならではの文化や歴史の継承

駅前広場等の公共空間を活用した様々なイベント・事業を実施しエリア価値の向上に資する公共空間の新たな活用に向けて、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」等豊かな地域資源を生かした取組を進めます。また、旧甲州街道沿いにおいては、古くから人々の往来の中心であった歴史を引き継ぎ、安全・安心で、歩いて楽しい沿道空間づくりの取組を進めます。

##### ★国領南地区（ココスクエア調布）の例

国領駅南地区第一種市街地再開発事業では、再開発事業により駅前に出店する大型店舗と、駅前商店街が共存する新たな商業コンセプト構築を目的として、地元商店会を中心に、サマーフェスティバルの開催等を行っています。

#### ICT技術を活用した安全性・利便性・快適性の向上

近年発展が目覚ましいICT技術を取り入れることにより、交通、防災対策の他様々な分野において安全性や利便性、快適性の向上が期待されます。また、開発等とあわせ、新たなモビリティのポートを確保すること等により、円滑な機能導入が期待されます。

##### ★新たなモビリティ導入の事例

調布市では、民間事業者と協力して、スマートフォンのアプリから予約ができるシェアサイクルの導入を進めています。



ラグビーワールドカップ2019（TM）ファンゾーン  
写真出典：調布市資料



ねぶくろシネマ  
写真出典：調布市



モビリティステーションのイメージ

写真出典：さいたま市  
シェア型マルチモビリティの取組と交通政策

## 子育てがしやすい環境の形成

子育てに関する情報を発信する場や子どもも保護者も居心地の良い空間の創出により，子育てしやすい環境の形成を目指します。

## バリアフリーやユニバーサルデザインの推進

バリアフリーやユニバーサルデザインへの配慮等によって，すべての人々にとって住みやすいまちづくりの推進や，多世代の交流が生まれる場の充実が期待されます。

特に，駅周辺においては，障害がある方でも安心して移動し利用できるバリアフリー設備の充実や，子どもが安心して遊ぶことができる場所の確保，及び高齢者も安心して出かけられるような休憩施設や分かりやすい情報提供の充実を目指します。

また，ユニバーサルデザインの観点からは，市民や地区を訪れる外国人等の来訪者にもわかりやすく親しみやすい案内サインの整備を検討します。

パラハート  
ちょうふ

つなげよう，ひろげよう，  
共に生きるまち

ロゴ出典：調布市HP



凡例

▲調布駅周辺地区の  
子育て関連施設等の  
立地状況

- 地区計画区域(調布駅周辺地区)
- 生活関連経路
- 調布市医師会HP掲載小児科
- BFハンドマップ掲載施設
- 子育て応援とうきょう(スポーツ事業協賛店)
- ママリマップ授乳室・おむつ替えスペース
- 児童福祉施設
- 小中学校など

## ★調布駅周辺の官民連携の取組

### 【調布駅前から盛り上げる会】

調布駅周辺の関係団体（市，調布市商工会，商工会アドバイザー，調布PARCO，トリエ京王調布，イオンシネマ シアタス調布，調布駅前商店街，調布エフエム放送株式会社，株式会社ジェイコム東京，公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団）が一体となり，駅周辺から市内の商業を活性化させることを目的に設立した組織です。



調布駅前から盛り上げる会

## ★課題解決に向けた産学官民の連携

### 【調布スマートシティ協議会】

令和3年6月に，企業，大学，NPO法人と市の4者で設立し，現在10団体で構成されています。産学官民の連携の下，デジタル技術等を活用して，市民の生活の豊かさや，地域の持続的成長につながる新たなサービスの創出により，社会的課題の解決と経済的価値の創出の両立を図ることを目的に活動しています。